

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4年 6月 24日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良県吉野郡大淀町桧垣本1589番地

氏 名 株式会社 森下組  
代表取締役社長 森下 秀城

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0747-52-3535

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

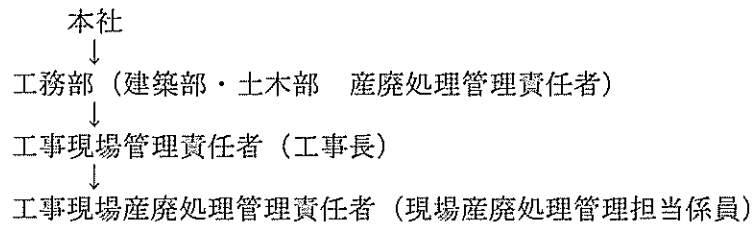
事業場の名称	株式会社 森下組
事業場の所在地	奈良県吉野郡大淀町桧垣本1589番地
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	元請完成工事高 78億円
③ 従業員数	71人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	(解体工事) ・がれき類→再生処分業者に委託→ 再生資源化 ・混合物→中間・最終処分業者に委託→ 埋立処理 ・金属くず→再生処分業者に委託→ 再生資源化 (基礎工事) ・汚 泥→再生処分業者に委託→ 再生資源化 (建築工事) ・がれき類→再生処分業者に委託→ 再生採石として再生資源化

(日本工業規格 A列4番)

## (第2面)

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (令和 3 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	1.87 t	50 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	37.84 t	332.86 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
	排出量	1 t	171.3 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	排出量	8477.81 t	510.72 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	
排出量	7.04 t	t	
(これまでに実施した取組)			
梱包材・包装材の削減 (出荷時に簡易梱包・包装の依頼) 型枠工事の再利用可能建材 (鋼製・FRP材) での施工による廃材の削減			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	1 t	40 t
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	木くず
	排出量	30 t	270 t
	産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
	排出量	1 t	130 t
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物
	排出量	8000 t	400 t
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	
排出量	5 t	t	
(今後実施する予定の取組)			
工法の改善による産廃発生量の削減			

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類・金属くず・紙・段ボールくず→再生可能廃材 その他 (混合物) →その他処分 として分別・保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 継続・現状維持

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)  型枠材・鋼材の再利用		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)  再生可能材料及び資材への工法・材質変更の検討		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)  特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)  実施する予定はない。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施する予定はない。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項							
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器くず類
	全処理委託量	1.87	50	37.84	332.86	1	171.3
	優良認定処理業者への処理委託量	1.87		37.84	80.12		171.3
	再生利用業者への処理委託量	1.87		37.84	332.86	1	171.3
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	産業廃棄物の種類	がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	全処理委託量	8477.8	510.72	7.04			
	優良認定処理業者への処理委託量	112.04	341.2	7.04			
	再生利用業者への処理委託量	8477.8	483.94				
	認定熱回収業者への処理委託量						
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
	(これまでに実施した取組) 現場内からの廃材を分別し、再利用業者への処理委託を行い最終処分量を削減する。						

		【目標】						
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃プラスチック類	木くず	金属くず	ガラス・コンクリ・陶磁器くず類
②計画	全処理委託量		1	40	30	270	1	130
	優良認定処理業者への処理委託量		1	40	20	200	1	130
	再生利用業者への処理委託量		1		20	270	1	130
	認定熱回収業者への処理委託量							
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量							
	産業廃棄物の種類		がれき類	混合廃棄物	管理型混合廃棄物			
	全処理委託量		8000	400	5			
	優良認定処理業者への処理委託量		4000	300	5			
	再生利用業者への処理委託量		8000	400				
	認定熱回収業者への処理委託量							
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
(今後実施する予定の取組)								
優良認定処理業者への委託								
※事務処理欄								